2025 年度 授業計画(シラバス)

	大木川山(アノババ)				
学 科	理学療法士学科	科目区分	専門分野	授業の方法	講義演習
科目名	理学療法評価学Ⅱ	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (3) 時間(単位)
対象学年	昼間部2年	学期	後期	教室名	5F機能訓練室
担当教員	小嶋 高広				
理学療法士として金沢整形外科クリニック(滋賀県)に7年間、丸太町リハビリテーションクリニック(京都府)に3年間 勤務。 主に整形外科疾患・スポーツ障害を有する症例患者を対象とした外来リハビリテーションに従事。年間100症例以上 を担当。 野球やゴルフ領域の研究発表・論文が複数。認定理学療法士(運動器)、修士号(スポーツ健康科学)取得。					

《授業科目における学習内容》

各評価の意義、目的を理解し、正確に実施することができる。必要な評価項目を想起することができる。 各評価手技の意義、目的、種類などを理解し、正確に実施することができる。 評価対象者の問題点の抽出を行うことができる。

《成績評価の方法と基準》

最終評価=定期試験×50%+実技試験×50%

《使用教材(教科書)及び参考図書》

教科書:理学療法評価学 松澤正・江口勝彦 著 金原出版

《授業外における学習方法》

いろいろな相手と練習をしていくこと。

慣れてきたら、環境やいろいろな状態を想定して実施しておくと、より臨床に即した知識・技術が身につくと思います。

《履修に当たっての留意点》

臨床に直結する内容になります。周りと協力をしながら身につけてください。

お互いに検査し合い、相手が不快にならないようにフィードバックすることも練習になります。

授業の方法		内 容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第 1 回	授業を通じての到達目標	なぜ評価が必要なのかを説明できる	教科書	予習:教科書の第1章
	各コマにおける授業予定	オリエンテーション、評価学総論	プリント	
第	授業を通じての到達目標	問診などのポイントを理解する		予習:教科書の第1章
2 回	各コマにおける授業予定	第1章 一般的評価事項	教科書	
第	授業を通じての到達目標	伝道路についてのおさらいができる 感覚の種類が説明できる	教科書	予習:教科書の第7章
3	各コマにおける授業予定	第7章 知覚検査		
第	授業を通じての到達目標	感覚検査を体験する	教科書	予習:教科書の第7章
4 回	各コマにおける授業予定	第7章 知覚検査		
第 5 -	授業を通じての到達目標	感覚検査・判定ができる		
	各コマにおける授業予定	第7章 知覚検査	教科書	予習:教科書の第7章

授業の方法		内 容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第	授業を通じての到達目標	反射検査の意味がわかる	*/- T.I. =>	予習:教科書の第8章
6 □	各コマにおける授業予定	第8章 深部腱反射・病的反射	教科書	
第	授業を通じての到達目標	反射検査と障害をリンクできる	教科書	予習:教科書の第8章
7 回	各コマにおける授業予定	第8章 深部腱反射•病的反射		
第	授業を通じての到達目標	筋緊張の種類を説明できる		予習:教科書の第10章
8 回	各コマにおける授業予定	第10章 筋トーヌス検査	教科書	
第	授業を通じての到達目標	筋緊張検査を実施できる		
9	各コマにおける授業予定	第10章 筋トーヌス検査	教科書	予習:教科書の第10章
第 1	授業を通じての到達目標	協調性について説明できる		予習:教科書の第17章
- O 回	各コマにおける授業予定	第17章 協調性検査	教科書	
第 1	授業を通じての到達目標	協調性の検査ができる	教科書	予習:教科書の第17章
1 0	各コマにおける授業予定	第17章 協調性検査		
第	授業を通じての到達目標	バランス検査ができる		予習:教科書の第9章
1 2 回	各コマにおける授業予定	第9章 バランス検査	教科書	
第 1	授業を通じての到達目標	リスク管理した上でバランス検査ができる	教科書	予習:教科書の第9章
3	各コマにおける授業予定	第9章 バランス検査		
第 1	授業を通じての到達目標	テストの概要がわかる		
1 4 回	各コマにおける授業予定	第18章 片麻痺機能検査(Brunnstrom test)	教科書	予習:教科書の第18章
第	授業を通じての到達目標	教科書を見ながら実施できる		予習:教科書の第18章
1 5 回	各コマにおける授業予定	第18章 片麻痺機能検査(Brunnstrom test)	教科書	

2025 年度 授業計画(シラバス)

	IXACH II (C) - O				
学 科	理学療法士学科	科目区分	専門分野	授業の方法	講義演習
科目名	理学療法評価学Ⅱ	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (3) 時間(単位)
対 象 学 年	昼間部2年	学期	後期	教室名	5F機能訓練室
担当教員	小嶋 高広				
理学療法士として金沢整形外科クリニック(滋賀県)に7年間、丸太町リハビリテーションクリニック(京都府)に3年間 勤務。 主に整形外科疾患・スポーツ障害を有する症例患者を対象とした外来リハビリテーションに従事。年間100症例以上 を担当。 野球やゴルフ領域の研究発表・論文が複数。認定理学療法士(運動器)、修士号(スポーツ健康科学)取得。					

《授業科目における学習内容》

各評価の意義、目的を理解し、正確に実施することができる。必要な評価項目を想起することができる。 各評価手技の意義、目的、種類などを理解し、正確に実施することができる。 評価対象者の問題点の抽出を行うことができる。

《成績評価の方法と基準》

最終評価=定期試験×50%+実技試験×50%

《使用教材(教科書)及び参考図書》

教科書:理学療法評価学 松澤正・江口勝彦 著 金原出版

《授業外における学習方法》

いろいろな相手と練習をしていくこと。

慣れてきたら、環境やいろいろな状態を想定して実施しておくと、より臨床に即した知識・技術が身につくと思います。

《履修に当たっての留意点》

臨床に直結する内容になります。周りと協力をしながら身につけてください。

お互いに検査し合い、相手が不快にならないようにフィードバックすることも練習になります。

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第 1	授業を通じての到達目標	教科書を見ながら実施できる		予習:教科書の第18章
6 回	各コマにおける授業予定	第18章 片麻痺機能検査(Brunnstrom test)	教科書	
第 1	授業を通じての到達目標	教科書を見ずに実施できる		予習:教科書の第18章
7 回	各コマにおける授業予定	第18章 片麻痺機能検査(Brunnstrom test · 上田法)	教科書	
第	授業を通じての到達目標	教科書を見ずに実施できる	教科書	予習:教科書の第18章
1 8 回	各コマにおける授業予定	第18章 片麻痺機能検査(Brunnstrom test · 上田法)		
第 1	授業を通じての到達目標	教科書を見ながら実施できる		予習:教科書の第18章
9 0	各コマにおける授業予定	第18章 片麻痺機能検査(SIAS)	教科書	
第 2	授業を通じての到達目標	教科書を見ながら実施できる		
0	各コマにおける授業予定	第18章 片麻痺機能検査(SIAS)	教科書	予習:教科書の第18章

授業の方法		内 容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第 2	授業を通じての到達目標	教科書を見ずに実施できる	#4.1.1 1	로찡, 취원 클 이었나?
1 回	各コマにおける授業予定	第18章 片麻痺機能検査(SIAS)	教科書	予習:教科書の第18章
第 2	授業を通じての到達目標	教科書を見ずに実施できる		予習:教科書の第18章
2	各コマにおける授業予定	第18章 片麻痺機能検査(SIAS)	教科書	
第 2	授業を通じての到達目標	意識障害に対する検査の判定ができる		予習:教科書の第20章
3 🗓	各コマにおける授業予定	知能・意識障害に対する検査	教科書	
第 2	授業を通じての到達目標	知能検査を実施できる		
4 回	各コマにおける授業予定	知能・意識障害に対する検査	教科書	予習:教科書の第20章
第 2	授業を通じての到達目標	脳の解剖(障害部位と症状)について説明できる		予習:教科書の第19章
5 回	各コマにおける授業予定	第19章 脳神経検査	教科書	
第 2	授業を通じての到達目標	脳の解剖(障害部位と症状)について説明できる		予習:教科書の第19章
6 回	各コマにおける授業予定	第19章 脳神経検査		
第	授業を通じての到達目標	検査を実施できる		予習:教科書の第20章
2 7 回	各コマにおける授業予定	第20章 高次脳機能検査	教科書	
第 2	授業を通じての到達目標	検査を実施できる		予習:教科書の第20章
8	各コマにおける授業予定	第20章 高次脳機能検査	教科書	
第	授業を通じての到達目標	いろいろな人に対して検査が正確に実施できる		ヱ 羽. タ タ タ 大 大 カ カ
2 9 0	各コマにおける授業予定	各種検査のまとめ、応用	教科書	予習:各検査方法のおさらい らい
第	授業を通じての到達目標	いろいろな状態の人の判定ができる		予習:各検査方法のおさ らい
3 0 <u>0</u>	各コマにおける授業予定	各種検査のまとめ、応用	教科書	